

## ニッセイNYダウ高配当株式トップ10インデックスファンド (年4回決算型) <購入・換金手数料なし> 愛称: **ダウハイ10**

追加型投信/海外/株式/インデックス型

### 「米国優良企業」 × 「高い配当利回り」 × 「10社均等投資」

#### 長期の資産形成に資する米国高配当株インデックスファンドをご提供したい

当ファンドは、「ダウ・ジョーンズ工業株価平均(NYダウ)」の構成銘柄のうち、配当利回りが高い上位10銘柄で構成される「Dow Jones U.S. High Dividend 10 インデックス(以下、ダウハイ10指数)(配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざします。

長期にわたる高配当株インデックス投資では、銘柄の「質」が重要となります。単に利回りの高さだけで銘柄を選定すると、業績や財務健全性に懸念のある企業が含まれるリスクがあるためです。そこで当ファンドが着目したのが、知名度や持続的な成長性等を基準に選ばれた、**米国経済を代表する優良企業(ブルーチップ)30社で構成されるNYダウ**です。

この**世界屈指の優良企業群のなかから、相対的に配当利回りの高い10社に均等投資するというシンプルなルールの指数**に連動することをめざす当ファンドは、投資家のみなさまの長期の資産形成のお役に立ちたいという想いから誕生しました。なお、当ファンドは2026年6月22日から7月6日までを当初申込期間とし、7月7日に設定・運用を開始する予定です。

### 当ファンドのキーワード

#### 米国優良企業

知名度や持続的な成長性、投資家からの高い関心等を基準に選ばれた米国の優良企業が投資対象銘柄群(ユニバース)



**NYダウ**が  
ユニバース

#### 高い配当利回り

NYダウのうち配当利回りが高い上位10銘柄に投資

ダウハイ10指数の  
過去5年間の平均配当利回り\*

**3.8%** (2026年4月末時点)

#### 10社均等投資

10銘柄に均等投資することで、高い配当利回りを享受しながら、特定の銘柄への過度な集中リスクを軽減



高利回りの獲得、  
リスクの抑制

#### 年4回決算

年4回(毎年3・6・9・12月の20日)決算を行い、分配金をお支払いすることをめざす



<購入・換金手数料なしシリーズ>初となる、分配金のお支払いをめざすファンド

※月次データの平均  
出所) S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

## 米国を代表する大手優良企業で構成されるNYダウ

米国の株価指数といえば、S&P500指数やNASDAQ100指数などが話題を集めていますが、100年以上の歴史と高い知名度を誇る「NYダウ」も注目に値する指数です。

### 👑 「歴史・知名度・成長性」が揃った「NYダウ」

#### 🕒 100年以上の歴史

NYダウは、世界中で名の知れた米国のトップ企業30社で構成される株価平均型の株価指数で、1896年に算出が開始された歴史ある指数です。

#### 📊 知名度・成長性

構成銘柄は、企業の知名度や持続的な成長性、投資家からの高い関心などを基準に選定されます。そのため、世界的に知名度の高い米国の優良企業、いわゆる「ブルーチップ」が中心となっています。

#### 🎯 優良銘柄の代名詞！？「ブルーチップ」

#### ★ ★ 収益性や成長性が高く、財務的にも安定した優良企業

ブルーチップとは、収益性・成長性に優れ、財務基盤も極めて安定した一流企業の株式を指す言葉です。NYダウに採用されるような米国を代表する企業の銘柄がこれにあたり、日本でも同様の意味で広く使われています。

この名称の由来には諸説ありますが、カードゲームのポーカーで最も価値の高いチップの色が青であったことに由来するという説が広く知られています。

#### NYダウの構成銘柄(2026年4月末時点)

銘柄名	銘柄名
エヌビディア	ゴールドマン・サックス・グループ
アップル	メルク
マイクロソフト	アメリカン・エクスプレス
アマゾン・ドット・コム	IBM
ウォルマート	マクドナルド
J Pモルガン・チェース・アンド・カンパニー	ベライゾン・コミュニケーションズ
ビザ	アムジェン
ジョンソン・エンド・ジョンソン	ウォルト・ディズニー・カンパニー
キャタピラー	ボーイング
シェブロン	セールスフォース
シスコシステムズ	ハネウェル・インターナショナル
プロクター・アンド・ギャンブル(P&G)	シャーウィン・ウィリアムズ
コカ・コーラ	3M
ユナイテッドヘルス・グループ	ナイキ
ホーム・デポ	トラベラーズ

ダウハイ10指数の構成銘柄(2026年5月1日時点)を色付きで表示  
 出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

## ダウハイ10指数のご紹介

当指数の特長は、**NYダウという世界屈指の優良企業群のなかから、相対的に配当利回りの高い10社に均等投資**する点にあります。

### Dow Jones U.S. High Dividend 10 インデックスとは

ダウ・ジョーンズ工業株価平均(NYダウ)の構成銘柄のうち、配当利回りが高い上位10銘柄で構成された指数です。年1回(4月)、構成銘柄を見直し、等金額となるよう構成比率の調整(リバランス)を行います。

- ・スピンオフ(分離・独立)等の理由から、構成銘柄が10銘柄にならない場合や、4月のリバランス日以外でも構成銘柄の入替えが行われる場合があります。

### 主な米国高配当株インデックスとの比較

項目	ダウハイ10指数 (2026年5月1日時点)	Dow Jones U.S. Dividend 100 Index (2026年4月末時点)	S&P 500 High Dividend Index (2026年4月末時点)
銘柄数	10銘柄	100銘柄	80銘柄
投資対象銘柄群 (ユニバース)	NYダウ	Dow Jones U.S. Broad Stock Market Index(REITを除く)	S&P500指数
主な選定基準	ユニバース30銘柄のうち配当利回りが高い上位10銘柄を選定。	10年以上連続で配当支払いのある株式を抽出後、負債比率・ROE・配当利回り・5年間の配当成長率の4項目で順位付けし選定。	ユニバース500銘柄のうち配当利回りが高い上位80銘柄を選定。
加重方法	等金額加重 (各10%)	時価総額加重 (キャップ調整あり)	等金額加重 (各1.25%)
銘柄入替頻度	年1回 (4月)	年1回 (3月) リバランスは四半期毎	年2回 (1月、7月)
業種別構成比 <sup>※1</sup>	<p>ヘルスケア 30.3% 生活必需品 20.9% 一般消費財・サービス 19.0% エネルギー 10.3% コミュニケーション・サービス 10.4% 情報技術 9.1%</p>	<p>ヘルスケア 18.6% 生活必需品/消費財 19.1% 石油・ガス(エネルギー) 15.9% 資本財/工業 13.8% テクノロジー 13.1% 金融 9.3% 一般消費財サービス 6.5% 電気通信 3.7%</p>	<p>不動産 25.8% 生活必需品 16.3% 金融 12.1% 公益事業 11.4% エネルギー 9.2% 素材 6.5% ヘルスケア 5.2% コミュニケーション・サービス 5.1% その他 8.5%</p>
<ご参考> 米国に上場する主なETF <sup>※2</sup>	—	SCHD (Schwab U.S. Dividend Equity ETF)	SPYD (SPDR Portfolio S&P 500 High Dividend ETF)

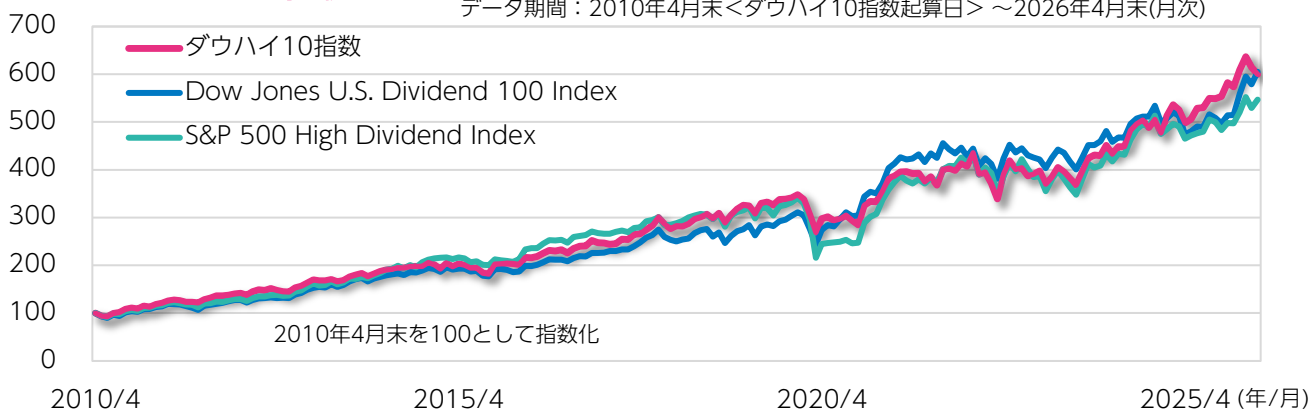
出所)S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※1 ダウハイ10指数とS&P 500 High Dividend Indexの業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。Dow Jones U.S. Dividend 100 Indexの業種はダウ・ジョーンズ産業分類(ICBベース)によるものです。 ※2当該指数に連動する投資成果をめざす米国上場の主なETFを参考として記載しています。特定商品の推奨や勧誘を目的としたものではありません。

## ダウハイ10指数のご紹介

### パフォーマンスの推移

データ期間：2010年4月末<ダウハイ10指数起算日>～2026年4月末(月次)



### 期間別リターンの比較

2026年4月末時点

	ダウハイ10指数	Dow Jones U.S. Dividend 100 Index	S&P 500 High Dividend Index
1年	20.4%	27.6%	17.6%
3年	51.0%	43.5%	41.5%
5年	55.2%	46.6%	46.1%
10年	177.8%	204.8%	131.6%

### 配当利回りの比較

2026年4月末時点

月次データの平均	ダウハイ10指数	Dow Jones U.S. Dividend 100 Index	S&P 500 High Dividend Index
過去5年平均	3.8%	3.6%	4.5%
過去10年平均	3.7%	3.5%	4.6%

### 構成比率上位10銘柄の比較

ダウハイ10指数の構成銘柄(2026年5月1日時点)を色付きで表示

ダウハイ10指数 (2026年5月1日時点)	Dow Jones U.S. Dividend 100 Index (2026年4月末時点)	S&P 500 High Dividend Index (2026年4月末時点)
ユナイテッドヘルス・グループ	テキサス・インスツルメンツ	A P A
コカ・コーラ	ユナイテッドヘルス・グループ	ライオンデルバセル・インダストリーズ
ベライゾン・コミュニケーションズ	クアルコム	ダウ
プロクター・アンド・ギャンブル (P&G)	シェブロン	アイアンマウンテン
シェブロン	コカ・コーラ	EOGリソースズ
メルク	コノコフィリップス	フィリップス66
ナイキ	ペプシコ	ベライゾン・コミュニケーションズ
アムジェン	ベライゾン・コミュニケーションズ	ターゲット
ホーム・デポ	プロクター・アンド・ギャンブル (P&G)	ONEOK
I B M	アムジェン	スカイワークス・ソリューションズ

出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

各指数：配当込み、米ドルベース

上記は当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果等を示唆するものではありません。上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

## ダウハイ10指数 構成銘柄のご紹介

### ユニテッドヘルス・グループ



業種：ヘルスケア

企業(雇用主)や個人等に医療保険や医療サービスを提供する世界トップクラスのヘルスケア企業。

### コカ・コーラ



業種：生活必需品

世界約200カ国で事業を展開する飲料会社。製造・販売から配送まで、世界最大規模のネットワークを有する。

### ベライゾン・コミュニケーションズ



業種：コミュニケーション・サービス

有線・無線の通信網をはじめ、データやインターネットサービスを幅広く提供する世界最大級の通信会社。

### プロクター・アンド・ギャンブル(P&G)



業種：生活必需品

約180カ国で製品を販売する世界的な消費財メーカー。洗剤や清掃用品、紙製品等が主力。

### シェブロン



業種：エネルギー

石油や天然ガスの探査・開発から、精製・販売に至るまでをグローバルに手掛ける世界有数の総合エネルギー会社。

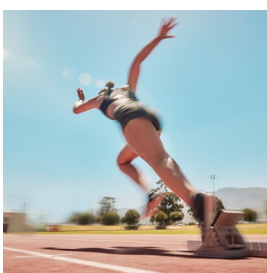
### メルク



業種：ヘルスケア

医薬品やワクチン、動物用医薬品等の開発・製造・販売を行う世界的なヘルスケア企業。

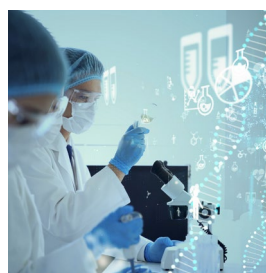
### ナイキ



業種：一般消費財・サービス

スポーツシューズ・ウェアを主力とし、幅広いスポーツ用品のデザイン・開発・販売を行う世界最大規模の企業。

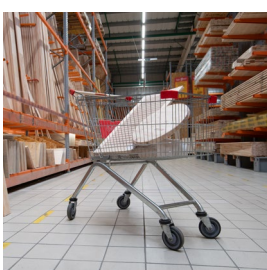
### アムジェン



業種：ヘルスケア

世界トップクラスのバイオテクノロジー企業。主にがんや難病などの革新的な治療薬・治療方法の開発を担う。

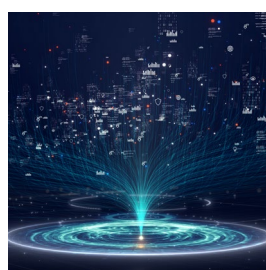
### ホーム・デポ



業種：一般消費財・サービス

建設資材や家具、ガーデニング用品などを取り扱う、世界トップシェアのホームセンター運営会社。

### IBM



業種：情報技術

長年にわたり情報技術業界を牽引する大手IT企業。AI(人工知能)やコンサルティング等のサービスを提供する。

2026年5月1日時点

出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。画像はイメージです。

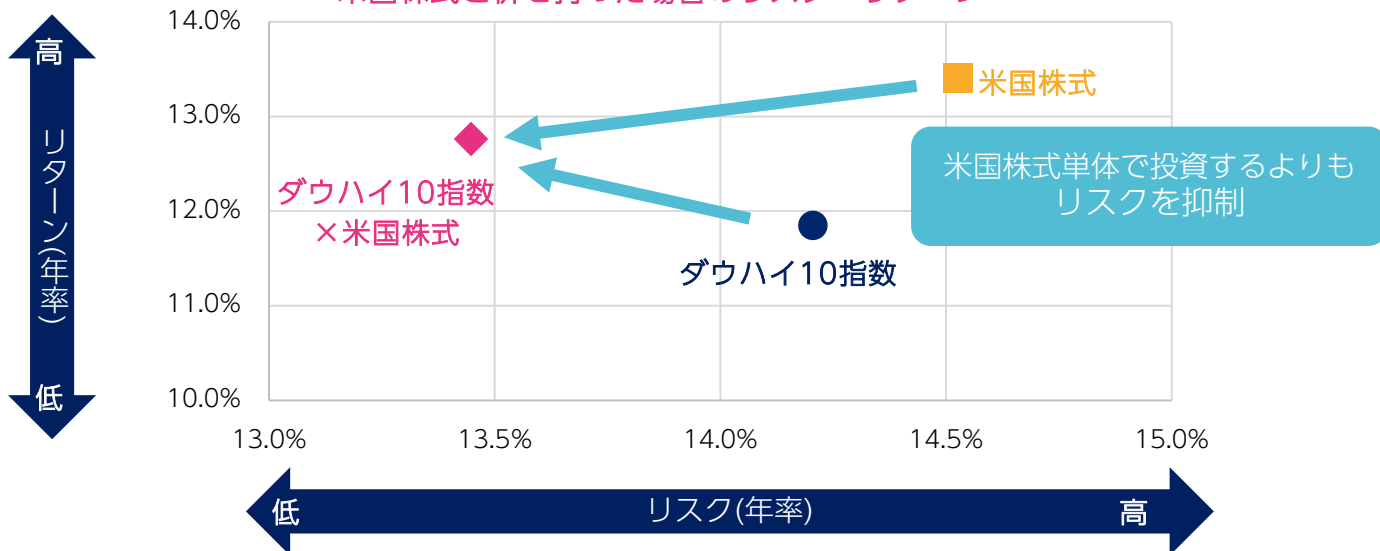
## 米国株式や世界株式との併せ持ち効果

米国の代表的な株価指数であるS&P500指数や世界株式とダウハイ10指数を併せ持つことにより、資産全体の価格変動リスクを抑制し、運用効率(リターン÷リスク)を高める効果が期待できます。

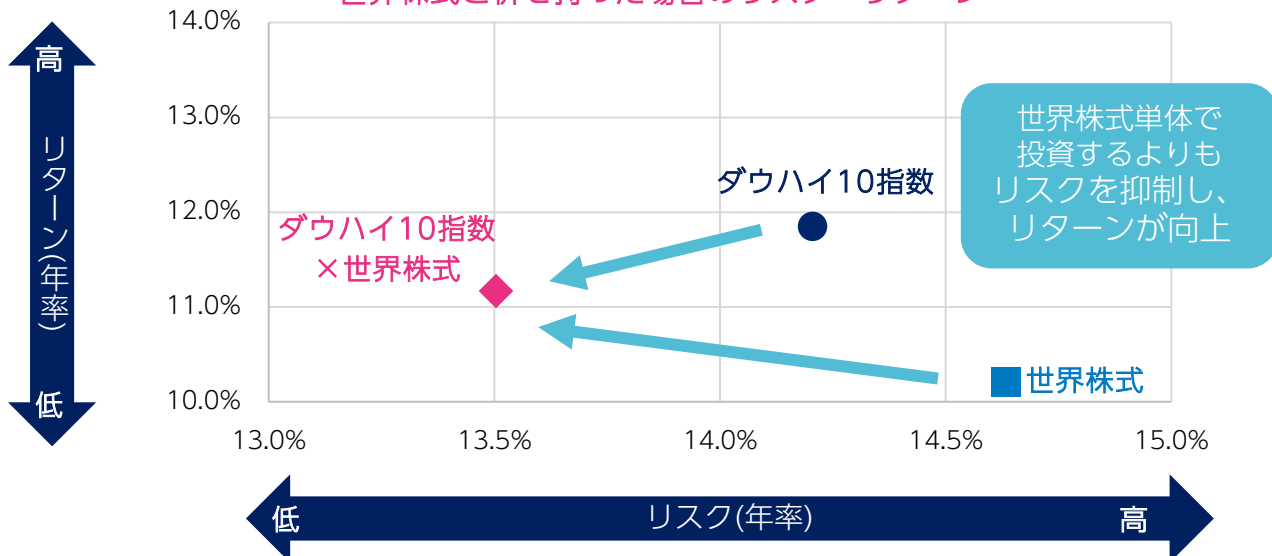
ダウハイ10指数の起算日からの期間で見ると、「ダウハイ10指数×米国株式」の併せ持ちでは米国株式単体での保有に比べてリスクが抑えられており、「ダウハイ10指数×世界株式」の併せ持ちでは世界株式単体での保有に比べてリスクの抑制に加えリターンの向上も確認できます。

	ダウハイ10指数	米国株式	ダウハイ10指数 ×米国株式	世界株式	ダウハイ10指数 ×世界株式
リターン(年率)	11.8%	13.4%	12.8%	10.2%	11.2%
リスク(年率)	14.2%	14.5%	13.4%	14.6%	13.5%
運用効率 (リターン÷リスク)	0.83	0.92	0.95	0.70	0.83

米国株式と併せ持った場合のリスク・リターン



世界株式と併せ持った場合のリスク・リターン



データ期間：2010年4月末<ダウハイ10指数起算日>～2026年4月末(月次)  
 出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 米国株式：S&P500指数、世界株式：MSCI AC ワールドインデックス 各指数：配当込み、米ドルベース  
 ダウハイ10指数×米国株式：ダウハイ10指数と米国株式に均等投資、ダウハイ10指数×世界株式：ダウハイ10指数と世界株式に均等投資。リスクは月次騰落率から求めた標準偏差。  
 上記は当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果等を示唆するものではありません。

## ファンドの特色

- ① 米国の株式等に投資することによりDow Jones U.S. High Dividend 10 インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果をめざします。

### Dow Jones U.S. High Dividend 10 インデックスとは

ダウ・ジョーンズ工業株価平均(NYダウ)の構成銘柄のうち、配当利回りが高い上位10銘柄で構成された指数です。年1回(4月)、構成銘柄を見直し、等金額となるよう構成比率の調整(リバランス)を行います。

・スピンオフ(分離・独立)等の理由から、構成銘柄が10銘柄にならない場合や、4月のリバランス日以外でも構成銘柄の入替えが行われる場合があります。

<ダウ・ジョーンズ工業株価平均(NYダウ)とは>

米国を代表する30銘柄で構成される株価平均型の株価指数です。1896年に算出が開始された歴史ある指数で、企業の知名度や持続的な成長性、投資家からの高い関心などを基準に構成銘柄が選定されます。

- ② 年4回決算を行い、分配金をお支払いすることをめざします。

**!** 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。

- ③ 購入時および換金時の手数料は無料です。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

### 基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。また、Dow Jones U.S. High Dividend 10 インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動することを目標に運用しますので、Dow Jones U.S. High Dividend 10 インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きにより基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

### 主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

**!** 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

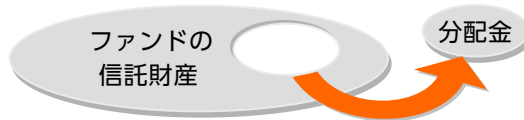
### その他の留意点

- ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短期間で手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができないリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受付を中止する、また既に受付けた換金の申込みの受付を取消しする可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

## 分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

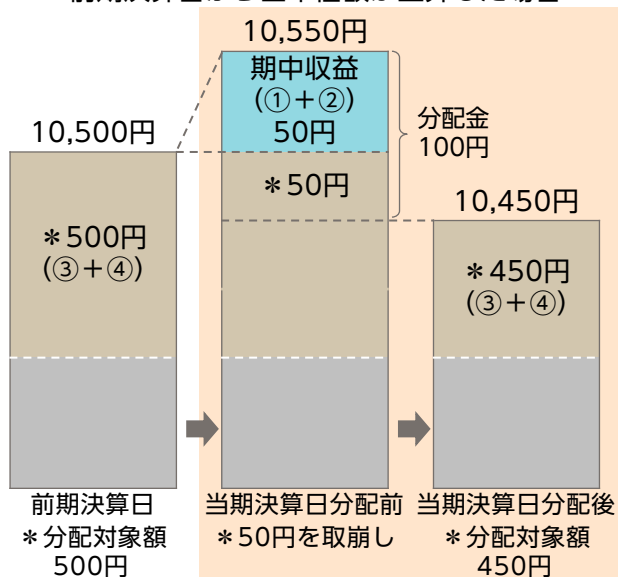
ファンドで分配金が支払われるイメージ



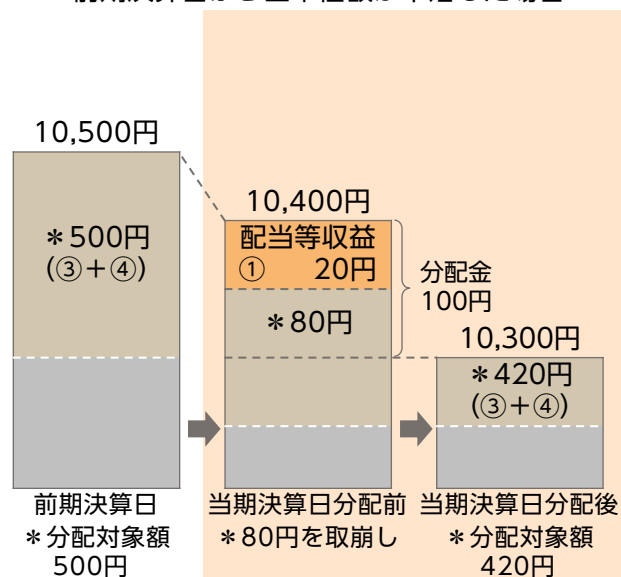
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



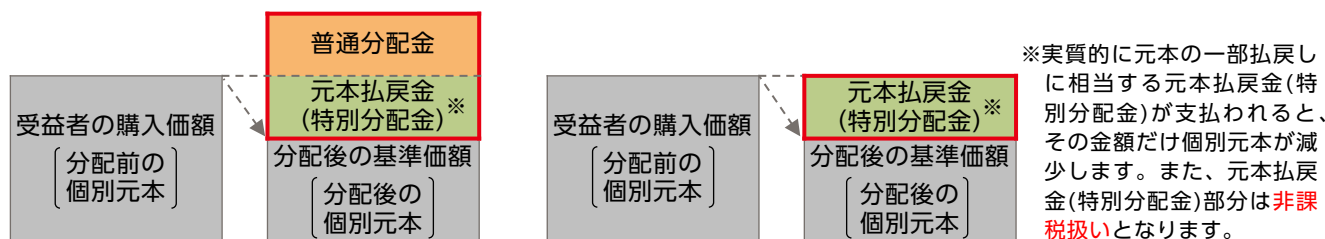
- 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益配分方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
 分配準備積立金：期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。  
 収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
 元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

- 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	ありません。
換金時	換金時手数料	ありません。
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率0.319%(税抜0.29%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.0011%(税抜0.001%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なしに変更されることがあります。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。なお、各指数の詳細につきましては、当社ホームページ(<https://www.nam.co.jp/education/handbook/copyrights.html>)をご確認ください。
- Dow Jones U.S. High Dividend 10 インデックスの著作権等について  
Dow Jones U.S. High Dividend 10 インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスがニッセイアセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS&P<sup>®</sup>は、Standard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup>はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスがニッセイアセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切の責任を負いません。なお、Dow Jones U.S. High Dividend 10 インデックス(配当込み、円換算ベース)とは、Dow Jones U.S. High Dividend 10 インデックス(配当込み)をもとに委託会社が独自に円換算したものです。

取扱販売会社一覧

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)		○	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)		○	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)		○	関東財務局長(登金)第10号	○		○	

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (9：00～17：00 土日祝日・年末年始を除く)
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	ホームページ： <a href="https://www.nam.co.jp/">https://www.nam.co.jp/</a>
三菱UFJ信託銀行株式会社	